

常盤墓とぎはのほか〔地藏堂ちざうだうの傍、源光庵げんくわうあんの庭にあり。牛若丸うしわかまるの母常盤御前とぎはごぜん此里の人なり、此ゆゑに名とす、里人此所に墳を築く〕

拾遺 紅葉せぬときはの山に住麁はおのれ鳴てや秋を知るらん 能宣

新古 春秋もしらぬ常盤とぎはの山里は住人さへや面かはりせぬ 在原元方

玉葉 染かぬるときはの杜の梢より月こそ秋の色は見えけれ 忠定

新後 初雁のきなくときはの杜の露染ぬ雫も秋は見えけれ 定家

古御所ふるごしよ〔常盤とぎはの東にあり。八条女院やうじよゐん此所に住給ひしなり、御室おむろの常盤殿とぎはと称す〕

藤木ふぢぎ〔杜もりの東にあり、柿本かきのもと紀僧正住きそうじやうし旧跡なり〕